





審査結果報告書

2019年1月29日

主査氏名	生地新	
副査氏名	田口浩和	
副査氏名	岩瀬俊夫	
副査氏名	井上晴久	

1. 申請者氏名 : DM15002 荒木 光

2. 論文テーマ :

Effects of brief depression prevention program based on Cognitive Behavior Therapy among college students: a randomized controlled trial

(大学生に対する認知行動療法に基づく簡易抑うつ予防プログラムの効果：ランダム化比較試験)

3. 論文審査結果 :

本論文は、大学生を対象にして、認知行動療法に基づく簡易抑うつ予防プログラムを実施し、その介入効果をランダム化比較試験によって検証したものである。

本研究においては、研究についての説明を受けて自発的に研究参加に同意した大学生を介入群 74 名と統制群 74 名の 2 群に無作為に割り付けた。介入群には認知療法と Rational Emotive Behavior Therapy に基づいた集団教育とホームワークを実施し、統制群には介入群のプログラムとは直接関係のない DVD2 本を視聴してもらうという介入を行った。介入のアウトカムを測定するために、抑うつ状態自己評価尺度である CES-D とうつ病・不安障害のスクリーニングツールである K6 を用い、認知の変容を検証するために改訂版自動思考調査紙と不合理な信念測定尺度短縮版を用いた。

研究の結果、K6 について介入の効果が示されたが、それ以外の尺度・ツールについては、介入群と統制群の間に有意な差は認められなかった。この結果は、本研究でも用いられた簡易抑うつ予防プログラムが一定の効果を示す可能性を示唆しているが、今後、さらに検証する必要もあると考えられる。

本論文は、きちんとした研究計画のもとで、適正な数の対象を設定して実施された研究に基づいている。研究の結果は、今後のうつ病の予防プログラムの開発に寄与するものと考えられる。申請者は、審査会において、本研究の結果を分かりやすく説明し、質問にもおおむね的確に答えていた。以上より、本論文は、北里大学大学院医療系研究科博士課程の学位論文として求められる水準に達していると判断した。